

学習課題

みんなで解決したい問い

段落どうしのつながりに気をつけて読み、
自分が伝えたい絵文字をわかりやすく説明する文章を書こう。

主体的に学習に
取り組む態度

わかること・できること

知識・技能

- ⑦ それぞれの段落の意味と文章全体の大きなまとまりを捉える。(2)ア)

考えること・表すこと

思考・判断・表現

- ① 段落のまとまりと段落どうしのつながりに気をつけて読み、筆者が伝えたいことの説明の仕方を読む。(C1)ア)
- ② 段落の中心となる語や文を見つけて読み、絵文字を説明する文章にまとめる。(C1)ウ)

くふうして学ぼうとすること

- ④ 段落のまとまりやつながりに気をつけて、絵文字を説明する文章になるように、何度も見直ししながら絵文字の特長をわかりやすく伝えようとする。

振り返りの観点

【この単元を通した振り返り】

- 段落どうしのつながりを読むとき、どのようなことに気をつけましたか。
- 説明する文章を書くとき、どのようなことに気をつけましたか。

【第3ステージ (3) 時間】

評価 ②③

〈こんな学習をしてこんな力を！〉

- ⑦⑧自分が伝えたい絵文字を選んで、一人一台端末を活用して説明する文章を書く。
- ⑨絵文字をわかりやすく説明する文章になっているか友達と読み合い、学習のまとめをする。

【第1ステージ (1) 時間】

評価 ①

〈こんな学習をしてこんな力を！〉

- ①『くらしと絵文字』を段落や大きなまとまりごとに分けて大体的内容を読み、「絵文字を説明する文章を書く」という学習課題について話し合い、学習計画を立てる。

【第2ステージ (5) 時間】

評価 ④

〈こんな学習をしてこんな力を！〉

- ②③それぞれの段落から「絵文字とは何か、どこで使われているか」について捉え、文のまとまりを確かめる。
- ④⑤絵文字が使われている理由について、文章を絵や写真と結びつけて読み、三つの特長をまとめ、説明する。
- ⑥段落どうしのつながりを考えて、筆者が伝えたいことの説明の仕方について話し合う。

どのような言語活動を通してどのような力をつけてきたか？

【この単元に関わって知っていること・できること】

説明した文章を読んでわかったことや考えたことを伝える活動を通して、順序を表す言葉に気をつけたり、大事な言葉や文を文章の中から見つけたりする。



小学校3年『くらしと絵文字』授業のポイント

単元名 段落どうしのつながりに気をつけて読み、説明する文章を書こう

本教材は、伝えたいことを色や形にして表している絵文字について、「絵を見た瞬間に意味がわかる」「親しみや楽しさを感じさせる」「その意味が言葉や年齢などの違いを超えてわかる」といった三つの特長にふれながら、絵文字の果たす役割などについて説明した文章です。本教材は、大きく分けて三つの大段落で構成されており、段落の書き出しと文末に着目すると、段落の役割を捉えて段落相互の関係に気をつけて読むことができます。また、児童は身のまわりにあるいろいろな絵文字に興味・関心をもったり想起したりしながら、それぞれの絵文字がどんな情報を発信しているのか、どんな特長をもっているのかについて、自分の考えをもつことができます。



1 単元で身につけたい資質・能力

本単元では、段落のまとまりや段落どうしのつながりに着目して読む力や、目的を意識して読むことで、中心となる語や文を見つかる力をつけます。

児童は、『くらしと絵文字』を読み、段落のまとまりや段落どうしのつながりに着目して、読んだことを説明していきます。説明する際には、伝えたいことを明確にして内容のまとまりで段落をつくり、段落相互の関係に注意しながら全体の構成を整えていくことが求められます。また、読み手にわかりやすく伝えるためには、絵や写真と関係づけて表現を工夫することが重要となります。

このように、本単元では、段落の役割を捉えて、段落のまとまりや段落どうしのつながりを考えて読む力や、段落相互の関係に注意しながら中心となる内容をまとめる力を身につけることによって、読み手にわかりやすく説明する文章を書く活動へとつなげることができます。

2 評価規準

評価の観点	評価規準
知識・技能	• 全体と中心など、情報と情報との関係について理解している。…(2)ア)
思考・判断・表現	◎「読むこと」において、段落相互の関係に着目しながら、筆者の考えを叙述を基に捉えている。…C(1)ア) • 「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見つけて読んでいる。…C(1)ウ)
主体的に学習に取り組む態度	• 粘り強く情報と情報の関係を理解して段落どうしのつながりを読み、学習課題にそって、絵文字を説明する文章を書こうとしている。

本単元における子どもたちのゴールイメージ

本単元では、『くらしと絵文字』を読み、段落のまとまりや段落どうしのつながりに着目して、自分が伝えたい絵文字について説明する文章を書きます。

第2ステージ②③の段階において、段落構成を捉えながら文章全体の内容を把握し、第2ステージ④⑤では、文章と絵や写真を結びつけて読み、三つの特長をまとめ、第2ステージ⑥で、段落どうしのつながりに着目して、筆者の伝えたいことの説明の仕方について、自分の考えをもち話し合います。

第3ステージでは、自分が伝えたい身のまわりにある絵文字について、一人一台端末を活用して説明する文章を書きます。教師は、第2ステージにおける学習状況や第3ステージで書いた文章をもとに、目標の実現状況を評価します。

自分が伝えたい絵文字を説明する文章例

「けいたい電話禁止の絵文字」
この絵文字は、びょういんに行ったときに、まちあい室で見つけました。けいたい電話の使用のきん止をつたえています。
赤い丸の中にけいたい電話の絵があり、その上に赤いなめ線があるので、使ってはいけないことがすぐにわかります。これは、絵文字の三つの特長のうちの第一の特長「絵を見たしゅんかんに意味がわかる」にあてはまります。
調べてみると、けいたい電話の電報がいろいろききにえきようがあることがわかりました。絵文字には、わたしたちの命を守ってくれるはたらきもあるのです。



解説 第一段落では、絵文字の紹介として、「どこで見つけたのか、どのような意味があるのか」についてまとめている。第二段落は、第一段落とのつながりから、絵文字の意味とその特長についてわかりやすく説明しており、絵と文章を結びつけて読めるように文章を書いている。第三段落では、絵文字について調べて、考えたことや感想を書いてまとめている。

文章を書く際、一人一台端末を活用することで、絵や図を取り入れて文章をまとめることができる。また、情報を加えたり、削除したりするなど容易に書き直すことができる。

ワンポイント

筆者の主張について批判的に読み、交流を通して、自分の考えをまとめる。

【自分の考えをまとめた文章】

①だんらんくは、⑩だんらんくのちがいをこえてわかる」の具体的な説明なのに、「すぐわかります」の一文から、ひじょう口の絵文字は、第一の特長の「見たしゅんかんかん、その意味がわかる」とも読める。「言葉や年れいなどのちがいをこえてすぐわかる」とすればよいと思う。

外国の人々にも、おさない子どもたちにもすぐわかります。

絵文字の特長の説明が合っているかな。

解説 段落のまとまりと段落どうしのつながりに着目して、批判的に読む視点の発問をすることで、自分の考えをもてるようにする。



ラーニング・マウンテンについてはこちらから

ラーニング・マウンテン
— 学びのプランを立てよう —
【3下『くらしと絵文字』】

たん
単元名〔

〕 ぜん 全 () 時間

みんなで解決かいけつしたい問い

わかること・できること

考えること・表あらわすこと

くふうして学ぼうとすること

【第 **3** ステージ () 時間】

〈こんな学習をしてこんな力を！〉



【この単元を通したふり返りかえ】

【第 **2** ステージ () 時間】

〈こんな学習をしてこんな力を！〉

【第 **1** ステージ () 時間】

〈こんな学習しゅうをしてこんな力を！〉

スタート



【この単元かかに関わって知っていること・できること】